



KYODO PAPER HOLDINGS



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月3日

上場会社名 株式会社共同紙販ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9849 URL https://www.kyodopaper.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 郡司 勝美
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 木村 純也 TEL 03-5826-5171
 四半期報告書提出予定日 2022年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	9,690	0.2	△54	—	△45	—	△67	—
2021年3月期第3四半期	9,671	△19.0	△61	—	△44	—	△66	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 △60百万円(—%) 2021年3月期第3四半期 △88百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	△101.49	—
2021年3月期第3四半期	△98.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	8,296	3,402	41.0
2021年3月期	8,451	3,497	41.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 3,402百万円 2021年3月期 3,496百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	2.1	50	—	70	312.3	50	27.0	74.67

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年3月期3Q	735,344株	2021年3月期	735,344株
2022年3月期3Q	65,767株	2021年3月期	65,767株
2022年3月期3Q	669,577株	2021年3月期3Q	669,584株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P.2
(1) 経営成績に関する説明	P.2
(2) 財政状態に関する説明	P.2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P.2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P.3
(1) 四半期連結貸借対照表	P.3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P.5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P.5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P.6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P.7
(継続企業の前提に関する注記)	P.7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P.7
(会計方針の変更)	P.7
(重要な後発事象)	P.8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種普及により徐々に回復の兆しが見られましたが、新たな変異株の感染拡大が再び経済活動を抑制し、依然として厳しい環境が続いております。

国内紙流通業界におきましては、イベント関連やチラシ等の印刷用紙需要が緩やかに回復しつつもコロナ禍前の水準には及ばず、デジタル媒体へのシフトが加速して一層厳しさを増しております。また、製紙メーカー各社は、原燃料価格の高騰や物流コストの上昇を吸収すべく大幅な価格修正を打ち出しており、紙流通業界も同様に、販売価格への転嫁を浸透させることが喫緊の課題となっております。

このような状況下で当社グループは、感染予防を徹底しながら効率的な販売活動を展開するとともに、物流事業においても外部顧客の需要を取り込み、グループ全体で連携して収益改善に取り組んでまいりました。主力の印刷用紙の販売は、イベント関連やチラシ類の復調により前年を上回りましたが、情報用紙の販売は、デジタル化進展に伴う帳票類の需要減等により販売重量・金額ともに前年を下回りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高9,690百万円（前年同期比0.2%増）、営業損失54百万円（前年同期は61百万円の損失）、経常損失45百万円（前年同期は44百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失67百万円（前年同期は66百万円の損失）となりました。

売上高（連結消去前）をセグメント別にみますと、洋紙卸売事業が9,636百万円（前年同期比0.5%増）、物流事業が213百万円（前年同期比4.9%増）、不動産賃貸事業が58百万円（前年同期比35.9%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて155百万円減少し8,296百万円となりました。これは主に、売掛債権の減少及び商品の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて61百万円減少し4,893百万円となりました。これは主に、納税による未払諸税金の減少及び買掛債務の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて94百万円減少し3,402百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2021年5月7日付「2021年3月期 決算短信」で公表した通期連結業績予想を変更しておりません。

今後、販売価格修正による洋紙市況の動向や、新型コロナウイルス感染症再拡大が紙需要に及ぼす影響、また、2022年1月1日付で実行した株式取得（わかば紙商事㈱の連結子会社化）の連結財務諸表への影響等、当第4四半期において考慮すべき様々な不確定要素があり、業績影響も含めて現在精査中であります。

連結業績予想の修正が必要と判断した時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,536,400	1,562,752
受取手形及び売掛金	2,617,652	2,291,347
電子記録債権	525,188	490,486
商品	883,370	1,057,189
未収入金	452,759	434,248
その他	50,304	100,464
貸倒引当金	△4,074	△1,386
流動資産合計	6,061,602	5,935,102
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	595,045	580,291
機械装置及び運搬具（純額）	35,253	47,360
土地	711,383	711,383
その他（純額）	8,690	6,535
有形固定資産合計	1,350,373	1,345,570
無形固定資産		
のれん	278,999	249,106
その他	13,545	10,386
無形固定資産合計	292,545	259,492
投資その他の資産		
投資有価証券	345,254	364,700
出資金	218,921	218,921
繰延税金資産	109,602	102,051
その他	73,493	70,294
投資その他の資産合計	747,272	755,967
固定資産合計	2,390,191	2,361,031
資産合計	8,451,793	8,296,134

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,287,438	4,294,472
電子記録債務	99,928	143,030
賞与引当金	13,714	2,700
その他	205,772	108,158
流動負債合計	4,606,853	4,548,361
固定負債		
退職給付に係る負債	305,225	295,265
その他	42,694	49,515
固定負債合計	347,920	344,781
負債合計	4,954,773	4,893,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,381,052	2,381,052
資本剰余金	782,473	782,473
利益剰余金	663,901	562,467
自己株式	△238,756	△238,756
株主資本合計	3,588,671	3,487,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△92,423	△84,993
その他の包括利益累計額合計	△92,423	△84,993
非支配株主持分	772	748
純資産合計	3,497,019	3,402,991
負債純資産合計	8,451,793	8,296,134

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	9,671,316	9,690,117
売上原価	8,483,643	8,492,602
売上総利益	1,187,673	1,197,515
販売費及び一般管理費	1,249,203	1,252,467
営業損失(△)	△61,530	△54,952
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	20,496	18,289
設備賃貸料	5,723	5,933
貸倒引当金戻入額	767	2,688
保証債務取崩額	571	826
助成金収入	101,944	81,118
その他	2,933	3,378
営業外収益合計	132,442	112,236
営業外費用		
手形売却損	4,308	4,120
支払手数料	1,500	1,500
休業手当	108,710	97,189
その他	671	82
営業外費用合計	115,190	102,891
経常損失(△)	△44,279	△45,607
特別利益		
投資有価証券売却益	10,527	-
特別利益合計	10,527	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△33,751	△45,607
法人税、住民税及び事業税	10,355	14,821
法人税等調整額	21,904	7,550
法人税等合計	32,260	22,372
四半期純損失(△)	△66,011	△67,979
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	△23
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△66,003	△67,955

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純損失(△)	△66,011	△67,979
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,526	7,430
その他の包括利益合計	△22,526	7,430
四半期包括利益	△88,538	△60,549
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△88,529	△60,525
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	△23

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

従来、請求済未出荷契約において、支配が顧客に移転する前に収益を認識しておりましたが、支配が顧客に移転した時点で収益を認識する方法に変更いたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方法を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

（重要な後発事象）

1. 取得による企業結合

当社は、2022年1月1日付で、わかば紙商事株式会社（東京都江東区）の全株式を取得し、完全子会社化いたしました。

（1）企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 わかば紙商事株式会社
事業の内容 紙類及び加工品等の販売

② 企業結合を行った理由

わかば紙商事は、当社主力の印刷用紙や情報用紙以外に板紙を主力取扱商品として、首都圏を中心に物流機能を外部に委託して販売活動を行っている中堅の卸売業者であります。当社グループは、本件株式の取得により、堅調である板紙分野の取り扱いを拡充して全国展開を図るとともに、物流子会社の機能を最大限活かした効率的な物流体制を共有し、販売品目の多角化と物流コストの削減を見込んでおります。

③ 企業結合日

2022年1月1日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とした株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得した議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

（2）被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

相手先の意向により非開示とさせていただきます。

（3）主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 4,000千円（概算）

（4）発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

（5）企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

2. 資本金の額の減少

当社は、2022年1月25日開催の臨時株主総会において、資本金の額の減少について付議し、同株主総会において承認可決されました。当該資本金の額の減少は、2022年1月26日をもって効力が発生しております。

（1）資本金の額の減少の目的

資本構成の振替を行うことにより、中長期的に安定した株主還元の実施と今後の機動的かつ柔軟な資本政策を実現することを目的として、会社法447条第1項の規定に基づき、資本金の額の減少を行うものであります。なお、資本金の額の減少は、純資産の部における勘定科目間の振替処理であり、当社の純資産額に変動はありません。また、本件による発行済株式総数に変更はなく、株主の皆様のご所有株式や1株当たり純資産額に影響を与えることはありません。

（2）資本金の額の減少の要領

① 減少すべき資本金の額

資本金の額2,381,052,540円のうち、2,281,052,540円を減少し、減少後の資本金の額を100,000,000円といたしました。

② 資本金の額の減少の方法

発行済み株式総数の変更は行わず、減少する資本金の額2,281,052,540円の全額を、その他資本剰余金に振り替えております。